

2018年11月6日

三田市長

森 哲男 様

三田市議会市民の会

(檜田充、美藤和広、佐々木智文)

2019年度三田市予算編成に関する申し入れ書

森哲男市長におかれましては、11万3千市民の福祉向上と安全安心のまちづくりに向け、ご尽力されていますことに敬意を表します。

市政施行60周年を迎えた本年は、「成長から成熟へ」の本格的な転換のスタートの年として位置づけ、次なる時代の「三田の都市像」具体化を図るべく、①次代を担う「人づくり」の推進、②「生活・産業都市」への転換、③「賑わいと潤い」をもたらす都市空間の創出、④「暮らしの安心安全」の再構築を重点課題として、「未来へ夢を持てるまち三田」のイメージ定着に向け取組まれています。そうした中で第二テクノパークへの企業誘致も順調に推移し完売の目途がたち、一方で酷暑や相次ぐ台風の襲来といった例年とは大きく異なった気象により、道路や農地等に大きな被害はありましたが、人身にかかる被害はなく、市民を守ることが出来ましたことは何より喜ばしいことであります。

しかしながら、急激な人口減少・少子高齢化時代をむかえ、本市が抱える課題も多くあります。国の医療制度改革に対応する「市民病院」のあり方、子どもの減少による「学校・幼稚園」の適正規模・適正配置、ニュータウン開発による行政需要の増加に伴い整備された公共施設の老朽化による見直し、さらに「野外焼却」の問題は地域の生活環境と農業振興の調和にも大きな影響を及ぼす可能性もあります。ひとつひとつの課題に正面から向き合い、市民にしっかりと説明し、理解を得て解決していかねばなりません。

私ども、「市民の会」では、「市民だれもが安全で安心な社会の実現」を心から願い、将来の社会基盤の根幹となる少子高齢化対策をはじめ、介護基盤の充実、障害者・高齢者の生きがい対策など健康福祉社会の実現、産業の活性化、雇用対策の充実、地域・学校の安全確保、新たな特色ある三田の教育の推進、三田の魅力を生かした情報発信等市政全般に渡る申し入れ項目を取りまとめました。

森市長には一期目集大成となる2019年度当初の予算編成にあたり強力なリーダーシップを発揮され、「健全で安定した市政の継続」という市民の願いに応える対応を強く要望いたします。

市民の会予算要望書

地域戦略・危機管理・経営管理

番号	内容	提案年度	種別
1	森市長が掲げる「日本一住みたいまち三田」の実現を目指すこと。 ①内部統制の構築・強化を図ること ②情報資産のセキュリティ対策を一層強化すること ③行財政構造改革の推進により健全財政を維持すること	H27	継続
2	JR新三田以北の沿線利用者の利便性向上に向けて、通勤・通学時間帯の増便と共に、駅ターミナルの拡大・充実を図ること。	H24	継続
3	相野駅周辺の整備事業を早期に実現すること。併せて広野駅、三田駅北側周辺地区についても早期の対応を図ること。	H24	強化
4	各地で発生する大規模災害に対応し、危機管理担当を中心に、防災体制の確立と共に、市民の安心安全確保に向けた情報管制と発信伝達などの諸施策に積極的に取り組むこと。	H23	強化
5	働き方改革の推進を図ること。 ①情報共有の推進。 ②時間外勤務の縮減 ③職員提案制度の充実 ④会議の効率化・適正化 ⑤オープンデータへの取組 ⑥作業効率のための仕組み ⑦庁内書式・様式の統一	H29	強化
6	情報公開の徹底を図ること。		継続
7	研修制度の充実による職員のスキルアップとモラル向上を図ること。		継続
8	公共施設マネジメントにおいて、市民に提供する施設サービスの水準を維持し、適正な配置を進めると共に地域の願いを反映するよう努められたい。コストを考慮しながら計画の見直しと充実を図ること。	H27	強化
9	各種団体への補助金・負担金については用途・効果を把握し、見直しを進めること。併せて、加入団体分担金・負担金についても必要性等を見極め、見直しを実現すること。	H23	継続
10	防犯カメラの設置・運用を検証し、さらなる地域防犯活動を積極的に支援すること。		継続
11	情報化時代を鑑み、高速無線通信の早期実現を図ること。	H30	新規
12	地域公共交通活性化協議会を活用し、住民ニーズにあった地域公共交通網の実現を促進すること。	H28	継続
13	高齢者の外出支援策を充実させること。	H23	強化
14	市民病院の改革において将来の医療需要を鑑み、地域の中核病院かつ高度な専門医療と救急医療を中心とした急性期病院として、住民に安心・安全な医療提供体制を確保すること。	H30	新規
15	学生のまちづくり活動 サンタ×三田プロジェクト		
16	関係団体と連携し三田名物、土産物開発支援による商業の活性化と観光振興を図ること。		継続
17	三田の歴史、自然、農業、ニュータウン、ゴルフ場など三田の魅力を生かしたまちづくりによって観光客や住民を誘致し、三田市の活性化に努めること。	H23	継続
18	三田市と観光協会が連携した観光資源を活かした物産販売・駐車場環境を整えること。	H28	強化

市民生活

番号	内容	提案年度	種別
1	人権尊重のまちづくりについて、今までのとりくみをさらに強化し、人権研修・啓発を図ること。	H23	継続
2	部落差別解消推進法の意義と周知徹底を図ること。また、人権教育推進事業について市民の理解が得られるよう努められたい。	H29	継続
3	児童生徒支援加配教員の増員と研修の充実を図ること。	H23	継続
4	本人通知制度について、周知の徹底をはかり、登録人数の拡充を図ること。	H26	継続
5	国体開催基準要項細則第2項に規定する施設基準及び各競技規則に基づいた大会誘致可能な体育館及び陸上競技場の整備を図ること。	H25	強化
6	地域担当及びサポート職員を活かし、地域課題の集約と解決に努めること。	H24	継続
7	市民センターの運用について、効率化を図ると共に、地域活動を支援するよう努められたい。	H27	強化
8	クリーンセンターの施設更新に向けた基本方針策定の取り組みを進めること。	H28	継続
9	市民を中心とした国際交流の推進に努めること。		継続
10	安定した電力供給にむけた、先進的な取り組みを研究すること。	H24	継続
11	循環型社会実現のための環境マネジメントに対し、システム的に追求するとともに、市民に十分説明責任を果たし、市民が主体的に活動できる環境を整備すること。		継続
12	太陽光発電設備の設置規制に基づき市民のと安全を確保すること。		継続
13	不法投棄ゼロに向けた対策の構築と実現を図ること。		継続
14	いきがい応援プラザの一層の周知を図るとともに、退職後の「就労」「大人の居場所づくり」を積極的に推進すること。	H23	強化
15	マイナンバーカードの市独自サービスの一層の充実を図ること。	H29	継続
16	協働のまちづくりに向け、市内全地域にまちづくり協議会を発足させ、市からの権限と財源を委譲の図ること。	H29	継続
17	図書館の市民サービス向上を図るとともに、自主事業を促し、図書館を活かした運営を目指すこと。	H29	継続
18	野外焼却については、意見を尊重して市民誰もが理解できる施策を講じること。	H30	新規

健康福祉

番号	内容	提案年度	種別
1	市民だれもが安心して子育てができるまちづくりを進めること。	H26	継続
2	小児救急医療体制の充実に努めること。	H26	継続
3	市民の命と健康を守るため、地域医療連携の強化を図ること。	H29	継続
4	介護保険制度の不安を払拭し、市民だれもが安心して暮らせるまちづくりに努めること。	H26	継続
5	社会福祉協議会の情報公開と人材育成を進め、全ての市民の理解と自立に向けた取り組みを進めること。		継続
6	高齢者の自立支援として、「健康づくり」など支援策を充実させること。	H23	継続
7	軽度認知症の早期発見の強化と治療環境の整備・充実に努めること	H29	強化
8	青少年の健やかな成長に悪影響を及ぼす有害環境(ネットを含む)の点検及び青少年育成活動を充実すること。		強化
9	障害を持つ人が安心して暮らせるよう、「就労」「外出」等障害者福祉の向上に努めること。		継続
10	障害者、特に視覚・聴覚障害のコミュニケーション支援の充実に努めること。	H27	強化
11	待機児童ゼロを目指し、認定こども園(市立)を含む施設整備を図ること。		強化
12	放課後児童クラブの安定的な運営を図ること。		継続
13	子どもの生活についてのアンケート調査結果を踏まえて、新たな施策を図ること。	H29	強化
14	福祉に関する相談窓口担当者のスキルアップを図ることとともに、得た情報に対応できる環境の整備と充実に努めること。	H30	新規

地域振興

番号	内容	提案年度	種別
1	産業創造戦略懇話会に基づく意見・提言を活かした地域産業の振興と活性化を図ること	H26	継続
2	テクノパークを含む、市内における雇用創出と若者の就労定着を目指すこと。あわせて、市内中小企業対策も充実すること。	H30	新規
3	障害者雇用の実態を把握すると共に、三田市が率先して障害者の能力・実態に合った雇用の確保、及び企業への法的雇用率達成を目指すよう指導・監督し、障害者が働きやすい環境をつくること。	H30	強化
4	産業・労働政策推進の観点から、連合三田との定期的な懇談の場を設定すること。	H26	継続
5	三田・新三田駅前の活性化において、学生や若者、ファミリー等が余暇を楽しみ、幅広く交流の場として、アミューズメント施設等の設置など、人が集う活気あるまちづくりに向け検討すること。	H26	継続
6	JR駅周辺の狭隘道路については、緊急車両の進入に対応できるよう拡幅を図ること。	H27	継続
7	地場産レストランの実現を目指すとともに、農業振興を図り、安心安全・良質な農産物を生産し、地産地消を推進すること。		継続
8	三田牛等全国に誇る特産品の発掘とブランド化により振興、流通に努めること。		継続
9	年々増加する有害鳥獣の根本的防止策を検討し、猟師の育成強化を含め対処すること。		強化

10	土地利用について、都市計画の見直しも含め最大限の努力をされたい。	H26	継続
11	相野駅周辺の整備については、長年の住民の悲願であり、早期の完成に向け、県・国への要望を強化するとともに、地元対策についても十分な対応をすること。	H26	継続
12	市民の健康づくりの施設や競技用施設の整備・維持を効率的に行うこと。また、体育館の冷暖房設備設置を図るとともに、熱中症などの安全対策を徹底すること。	H24	継続
13	空き地空き家対策をまちづくりの課題として、対応策の積極的な推進を図ること。	H24	継続
14	街区公園の管理においては、まちづくり協議会等地域への委託を図ること。	H28	強化
15	主要道路については拡幅、歩道整備を含め、交通安全対策の充実を図ること。(自転車通学への配慮、ロードミラー、横断歩道、及び信号機の設置)		継続
16	街路樹について間引きも含めてあり方を見直し、安全の確保、環境美化を図ること。	H25	継続
17	三田駅前Cブロックの再開発について、事業化に向けた積極的な支援を行うこと。	H26	継続
18	既存商店街のあり方を見直し、将来に向けた取り組みを図ること。	H28	継続
19	若い勤労者が三田に住みやすい環境を支援すること。	H28	継続

上下水道

番号	内容	提案年度	種別
1	安全・清浄にして豊富・低廉な浄水の供給に努めること。		継続
2	効率的経営により料金の長期安定化を図ること。		継続
3	経営形態も含め今後の在り方を検討すること。	H30	新規

教育委員会

番号	内容	提案年度	種別
1	通学・通園を含め、学校・園の安全対策に万全を期すこと。また、自転車保険の加入促進に努めること。	H27	強化
2	学校行事、出張、各種研究の精選、人的配置等により、教職員の多忙化解消・心のケアに努め、労働安全衛生法に基づく適切な勤務環境への改善に努めること。		強化
3	「ひまわり特別支援学校」の充実を図るとともに、地域校についても、引き続きバリアフリー化等、施設設備の充実、人的配置について考慮すること。	H26	継続
4	個々の子どもに応じたきめ細かい教育の実現に向け、少人数学級を推進すること。また、学校現場の実情に応じ、教職員の増員を図ること。	H26	継続
5	カウンセリングを必要とする児童・生徒が増加していることから、スクールカウンセラーを全校配置し、心のケアを充実すること。	H26	継続
6	学校園の規模・配置の適正化については、保護者・地域の意向にも十分配慮しながら進めること。	H27	強化
7	学校給食においては、安心・安全を図ること。	H25	継続
8	学校給食の無償化に向け、検討を進めること。	H28	新規
9	保護者負担の軽減、教育環境の整備を図ること。		継続
10	子どもの将来に影響を与えるような「ほんもの」に触れ合い、夢と感動を体験できる機会づくりに努めること。	H25	継続
11	「虐待」「いじめ」「不登校」などの防止・早期発見と問題解決に向け、学校だけでなく保護者・地域・警察などと連携を強化すること。	H24	継続
12	三田市子育て世帯の経済状況と生活実態に関する調査を踏まえ、貧困対策を講じること。	H30	新規

消防本部

番号	内容	提案年度	種別
1	消防職員の計画的な採用に努め、実質定数を満たすよう努力すること。		強化
2	自主防災組織の結成やその育成に努力してほしい。		継続
3	消防団の災害時対応については、何よりも団員の安全に十分配慮すること。		継続
4	中高層建築物火災時に出勤可能な要員の確保と急増する救急業務、並びに大規模災害時に対応できる出勤体制の増強を図られたい。		継続
5	女性の救急救命士の配置を進めること。	H28	継続

市民病院

番号	内容	提案年度	種別
1	来る急激な高齢化を鑑み、健康と命を守る高度で総合的な医療機関として、機能の充実を図ること。	H27	継続
2	医師・看護師の確保を継続的に行い、病院機能の維持向上に努めるとともに、医療スタッフと患者との信頼関係向上に努めること。		継続
3	医療事故の撲滅と医療技術の向上に努めること。		継続
4	時間外勤務の縮小等、医師看護師の就労環境の整備充実に努めること。		継続
5	地域の医療機関と連携し、そのリーダーとして、地域医療の充実を図ること。	H24	継続
6	診療費の未収の縮減に努めること。	H23	継続